

1令和3年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（みつば 幼稚園）

教育目標

夢中になって遊び、心豊かにたくましく生きる力の基礎を培う

年度末の最終評価

自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価		
最終評価		

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組

- ・子どもが夢中になって遊び込むという姿を的確にとらえ幼児理解を深める。
- ・金曜日に全クラスがその週の保育の振り返りと次週の保育について語り合い、共通理解をはかることで、教員・子ども双方の育ち合いを目指す。
- ・戸外での遊びや体を動かす遊びに意欲的になれるような環境構成を適宜見直したり、教師が意図的に投げかけたりすると共に、安全な遊具の使い方を年齢に応じて指導する。
- ・毎月の保健指導をはじめ、健康・衛生面について毎週ポイントを絞り指導する時間を設ける
- ・安全な道路の歩き方を園外保育の機会や交通教室を開き指導する。
- ・一人一人の心の動きに沿って幼児理解を深め、安心感から生まれる信頼関係を築く。
- ・互いに理解し合う体験や、一緒に活動する楽しさを味わうことができるよう、自己主張の物化し合う場面などで、子どもの心の動きを捉え、丁寧に関わるようにする。
- ・他学年の子どもに親しみをもてるよう、教師が遊びの中で子どもの名前を積極的に呼ぶことでつなぐ援助をする。
- ・子どもたちが心や体を十分に動かし、夢中になって遊び込めるよう、適宜園内の環境を見直し再構成する。
- ・季節に応じた花や野菜などの栽培活動を通して、植物の生長に気付いたり収穫の喜びを感じたりする

- 等、直接的な体験を大切にする。
- ・小動物や虫などに親しみ、温もりを感じられるよう、身近な生き物に触れ合う場をつくる。
 - ・子どもが安心して自分の思いを素直に話すことができるよう、教師との信頼関係を築くと共に、教師が子ども同士をつなぐ援助をする。
 - ・教職員は子どもや保護者、来園者に笑顔で挨拶をし、心地よい挨拶のモデルになる。
 - ・保育での読み聞かせや、絵本貸し出し、「親子で絵本！」を活用し、子どもが、親や教師と触れ合いながら絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わったり、外国語を含め様々な言語を見聞きしたりできるようにする。
 - ・一人一人の興味関心を理解し、子どもが心を動かし思いを表現したくなったりするような、豊かな環境づくりや教材の工夫する。
 - ・子どものありのままの素直な表現を受け入れ、共感したり認めたりすることで表現する楽しさや伝わる喜びを味わえるようにする。
 - ・互いに思いを主張する機会を大切にし、自分と相手の思いの違いに気付いたり、葛藤したりする姿を受け止める。
 - ・共有のものを使ったり、簡単なルールのある遊びをしたりする機会をつくり、生活や遊びの中での必要なきまりや思いやりに気付けるようにする。
 - ・個々の子どもの課題を明確にし、支援を充実させるため定期的な園内研修を行い、全教職員で共通理解をする。
 - ・一人一人の良さや、嬉しい出来事をその場で本人や周りの子どもに伝えたり、クラス全員で共有したりして、互いを認め合えるクラスづくりをする。

(取組結果を検証する) 各種指標

- 金曜日の振り返り時間での園環境の見直し内容や、幼児理解の内容
- ・夢中になって遊びたくなる(体を動かす・飼育栽培活動に興味をもつ・ごっこ遊びや表現遊びなど)ような環境の再構成と援助の振り返り
- 週案の振り返りや記録、エピソード研修をもとに、子どもとの信頼関係や子どもの様々な感情体験などの幼児理解、学級経営の振り返り
- 週案をもとにした、保健指導や日々の感染対策への指導や安全指導の振り返り
- 「親子で絵本ノート」の活用状況の把握と学級での読み聞かせの冊数
- 保護者アンケート
 - ・子どもは幼稚園に登園することを喜んでいる
 - ・子どもは幼稚園で夢中になって遊ぶ体験をしている
 - ・子どもが幼稚園で夢中になって遊ぶことは子どもの心や体の育ちに必要だ
 - ・子どもは幼稚園で体を動かして遊ぶことを体験し、楽しんでいる
 - ・子どもは幼稚園で身近な自然にかかり、季節を感じる体験をしている
 - ・子どもは幼稚園で様々な感情体験(笑う・喜ぶ・怒る・困る・悲しむなど)を豊かにしている
 - ・子どもは生活や遊びの中で、必要なルールやきまりがわかり、守ろうとしている。
 - ・幼稚園教職員は子どもや保護者に笑顔で挨拶をしている
 - ・子どもは挨拶(おはよう・さようなら・ありがとう・ごめんなさい)をしている
 - ・幼稚園教職員は子どもの思いを受け止め信頼関係を築こうとしている
 - ・子どもは帰宅後手洗いを進んで行っている

中間評価

各種指標結果

自	分析（成果と課題）
---	-----------

自己評価	分析を踏まえた取組の改善
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(2) 幼小連携・接続に関して

具体的な取組
・子どもが小学校生活を具体的にイメージでき, 期待が膨らむよう, 交流またはICT活用により小学校生活が感じられるようにする。
・ICTを活用した連携の在り方を探り, コロナ禍であっても実施可能な年間計画を作成する。
・個々の箸やパスなど用具の持ち方や筆圧をとらえ, 生活の中で個に応じた指導をする
(取組結果を検証する) 各種指標
○年間計画の作成と進捗状況及びICTを活用した幼小連携の振り返り (小学校生活が感じられたか 小学校生活に期待を膨らませているかなど)
○小学校との連携から見直した接続期カリキュラムに基づいた取組
○昼食時や描画活動での用具の持ち方や筆圧など個々の実態の把握と指導の振り返り
○保護者アンケート
・地域の小学校との交流や連携は子どもの心の育ちにつながる
・子どもは, 箸やペン・パスなどを正しく持って使っている

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

(3) 預かり保育について

具体的な取組
・異年齢が関わる場であることを意識し、手洗いの励行や遊びの空間を広くするなどの感染防止対策を行う。
・健康状態や早朝登園時の様子、保育中の様子や子どもの関係性など、預かり保育担当者とクラス担任、および家庭と連絡を密にする。
・個々の興味に応じた遊びをゆったりと楽しめる環境構成を行うとともに、読み聞かせなどを取り入れ、心地よく過ごせる活動を展開する。
・季節や教育時間の遊びを取り入れ子どもの思いのつながりを意識する。
(取組結果を検証する) 各種指標
○週案をもとにした活動内容と、感染症対策の振り返り
○担当者と担任との連絡・連携の振り返り
○保護者アンケート
・なかよしタイムは子どもにとって他のクラスや学年の子どもとかかわる機会になっている
・子どもはなかよしタイムで楽しく過ごしたり安心して過ごしたりしていると思う
・なかよしタイム(早朝預かり保育を含む)は保護者にとって子育ての支援になっている

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

(4) 子育ての支援に関して

具体的な取組

- ・個人懇談会やクラス懇談会、登降園時を活用した家庭とのきめ細かな連絡・連携を行う
- ・感染症対策をした上で、ほっこり子育てひろばなど、保護者同士が、子育てのことを気軽に話せる場をつくる。
- ・未就園児親子が安心して好きな遊びを十分に楽しむ場や子育ての喜びや不安を話せる場となる教育相談を行う。
- ・HP掲載や地域・小規模保育事業所へのチラシ配布など教育相談を広く発信する。
- ・2歳児が、徐々に園生活を体験する取組を行う。(素材遊び・栽培活動・トイレ等生活体験)

(取組結果を検証する) 各種指標

- 日々の家庭との連絡・連携の振り返りと園だよりやHPでの教育活動の発信
- ほっこり子育てひろばなどの開催回数と内容の振り返り
- 教育相談の内容の振り返りとHPでの発信回数
- 保護者アンケート
 - ・幼稚園教職員に子どものことや子育ての悩みなどを話したり相談したりしやすい
 - ・幼稚園は教育活動(子どもの姿など)を降園時に家庭に伝えたり園だよりやHPで発信したりしている。
 - ・降園時に幼稚園の様子の話を聞いたり連絡ボードを見たりすることは、家庭と園との連携にとって大切だ

- ・幼稚園の教育相談は地域の子育て支援になっている

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（5）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

具体的な取組

- ・隣接する高齢者施設のことを知り、つながりを感じられるような交流を、ICT の活用や手紙、栽培活動を通して進める。
- ・中学校との連携や ICT を活用した交流を行ったり、PTA活動や学校運営協議会と連携した地域行事を保護者に案内し参加を呼び掛けたりする。

（取組結果を検証する）各種指標

- 高齢者施設との交流の回数と、活動の振り返り
- 上京中学校との交流や連携の回数と、活動の振り返り
- 地域行事への参加の様子の振り返り
- 保護者アンケート
 - ・子どもは隣接の高齢者施設(特養)のことを知っていたり関心を持っていたりする

- ・子どもは上京中学校との交流や、地域の行事を知っていたり、関心をもっていたりする
- ・高齢者施設や地域(中学校との交流を含む)との関わりは子どもの心の育ちにつながっている

中間評価

	各種指標結果
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	

(5) 教職員の働き方改革について

重点目標
具体的な取組
(取組結果を検証する) 各種指標

中間評価

各種指標結果

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策